

コカゲロウ属の仲間

Baetis sp.

コカゲロウ科



コカゲロウ属の仲間（幼虫）

（撮影：宮下 力）

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）
草花

（外来種）
草花

哺乳類

（水辺）
鳥類

（草原・樹林）
鳥類
ワシ・タカ

名前の由来

小さなカゲロウの意味。カゲロウは成虫での寿命が短い
ため、はかなく消える陽炎になぞらえたとされている。
漢字名：小蜉蝣

形態的特徴

幼虫の特徴：体長5mm程度と小型。尾は3本で体長より短い。エラは分かれず葉状。各腹節両側の突起は延伸しない。

類似種と見分け方：フタバコカゲロウ属。

コカゲロウ属の尾は3本だが、フタバコカゲロウ属の尾は2本。

生息環境・分布

清冽な山地溪流から汚染された河川全域にわたって分布する。

分布：国外分布は、不明。

国内では、日本に広く分布。北海道内では、普通に分布。十勝地方では、普通に分布。



コカゲロウ属の仲間の成虫

（撮影：宮下 力）

食性・他の生物との関わり

付着藻類を食べる。他の水生動物の餌となる。

繁殖生態・寿命

メスは水中に潜り、底石の裏に直接産卵する。

一年一・二化（1回発生のもものと2回発生のもものがある）

興味深い話

■小さく細長いカゲロウの中では代表的なグループである。■コカゲロウ科は分類が難しく、名前のついていないものも
細長い紡錘形をしていて、流れの緩やかな場所で石や枯葉
につかまっていたり、時々泳いだりする。

配慮事項

特に石表面の藻類が餌として重要である。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
卵期・幼虫期	■												
成虫期						■							

参考文献

「アングラーのための水生昆虫フィールドノート」宮下力 出版文化社 2000

「日本産水生昆虫検索図説」川合禎次 東海大学出版会 1995

「水生昆虫アルバム」島崎憲司郎 フライの雑誌社 1998

「水辺の昆虫」今森光彦 山と溪谷社 2000